

令和2年10月19日  
九州地方整備局  
九州技術事務所

## 研修用河川堤防実モデル完成、職員研修開催 ～堤防点検技術力向上を目指して～

国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所に新たな研修施設「河川堤防実モデル」が令和2年3月に完成しました。

従前の研修では、実際の堤防において実習を行っていましたが、今年度からは、研修所と同じ敷地内にある当該施設を活用することで、効率的かつ効果的な実習が可能となります。また、河川堤防のVR（仮想現実）を使った研修用コンテンツも新たに活用します。

国土交通省は、洪水に対する堤防の健全性を確保するために河川堤防点検を実施しています。

「研修用河川堤防実モデル」は、職員がこの堤防点検に必要な技術の習得を効率的に実習することを目的としています。（別紙資料参照）

当該施設の説明を下記の日時に行います。

当日は、当該施設を使った最初の職員研修（河川保全技術研修）を行っています。研修時の撮影は可能ですが、研修の都合上、撮影場所などを制限させていただく場合があります。予めご了承ください。



記

- ・ 日 時：令和2年10月22日（木） 13時10分 ～ 14時30分
- ・ 説明会場：国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所 本館1階 講習会室

※13時10分までに説明会場にお越しください。

※事前の申し込みがなくても取材可能です。

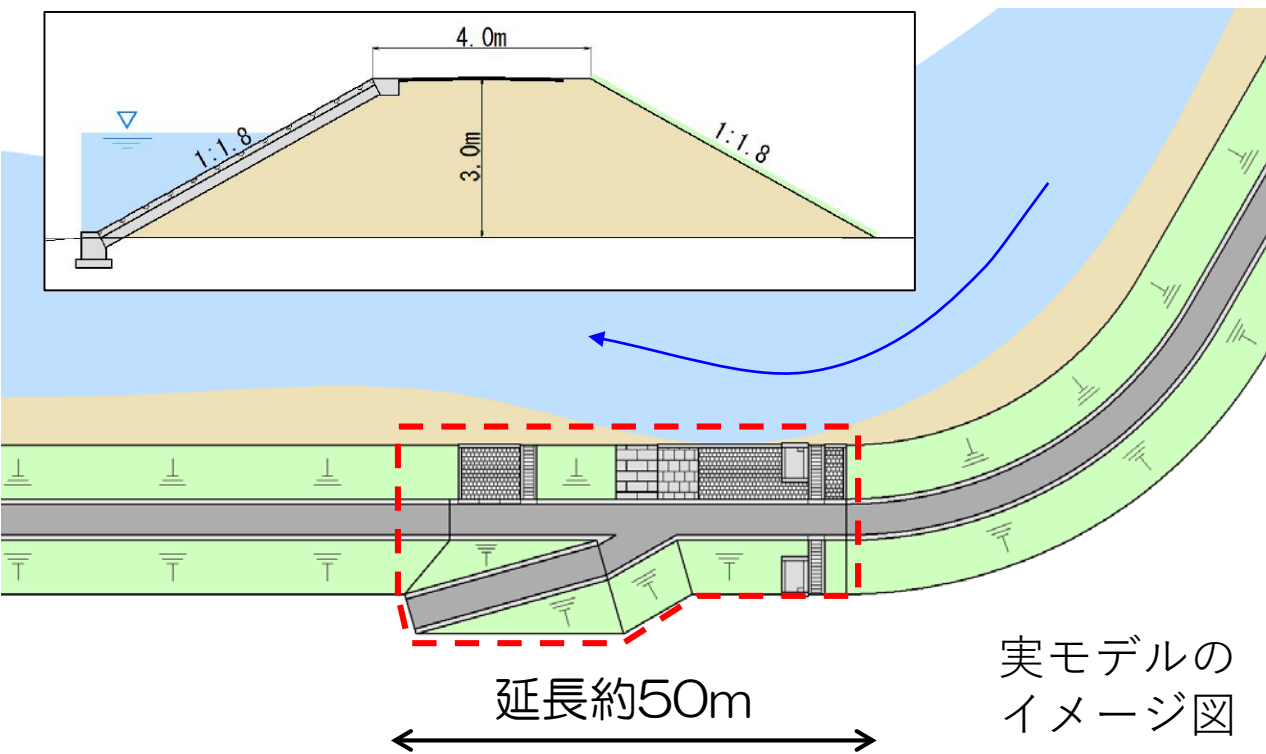
【問合せ先】 国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所  
技術情報管理官 植西 清 （内線303）  
久留米市高野1丁目3番1号 TEL 0942-32-8245（代表）

河川堤防実モデルは、「堤防点検の技術習得」を効率的に研修するための施設。

河川堤防（土堤、護岸、特殊堤、樋管）に生じる軽微な変状を配置。

実際の現場で研修するより、数多くの事象を短時間に実地研修が可能。

堤防実モデルは、令和2年3月に完成。



堤防点検の技術を効率的に学習するために、実モデルに様々な変状を配置している。



函体部の損傷（亀裂）



護岸ブロックの沈下

## 研修用VR（仮想現実）コンテンツ



堤防実モデルでは再現できない現象もVRに再現。リアルさでは実物に劣るが、屋内研修において基礎知識の習得に効果的。



河川堤防VRの中で変状を点検する



堤防が越水によって決壊していく経過をVRで体験する